

19 暴力は「しつけ」じゃない (子ども)

(ナレーター) 皆さん、いかがお過ごしですか。福岡市がお送りする「こころのオルゴール」の時間です。

5

ここは、こどもの悩み相談を受け付ける電話窓口です。おや、さっそく電話がかかってきましたよ。

【女の子】もしもし。いつもお母さんに怒られて怖いのに。

10

【相談員】お母さんは、どんなときに怒るの？

【子】私が遊んでて、5時まで家に帰れなかったときとか。

【相】そうなんだね。約束の時間を忘れちゃうこともあるよね。お母さんはどんなふうに怒るの？

【子】えっと…

15

【相】ゆっくり話していいよ。

【子】「なんで約束を破るの」とか「言われたら1回で聞きなさい」って怒る。

【相】そんなふうに言われるのが怖いのか？

20

【子】それだけじゃなくて、大きな声でずっと怒ってて、何回も叩いたり蹴ったりするの。髪の毛も引っ張るから、すっごく痛い。

【相】そうなんだ。それは痛いし、怖いよね。

【子】でも、私が約束を守らなかったから…

25

【相】あなたがいけないことをしても、お母さんがあなたを叩いていいことには、ならないんだよ。よく話してくれたね。

(ナレーター)たとえ「しつけのため」であっても、暴力は許されません。しかし、全国の児童相談所には毎年、多くの虐待に関する相談が寄せられます。2018年度は通報も含めて約16万件あり、福岡市内だけでも約2千件に上ります。

30

また、叩いたり蹴ったりする身体的虐待のほかにも、言葉で脅したり無視したりする「心理的虐待」があります。食事を与えなかったり、病気になっても放っておいたりするのは「ネグレクト」と呼ばれる放任虐待です。性的虐待もあります。

35

子どもは虐待を受けても、「自分が悪いせいだ」と考えてしまう傾向があり、なかなか自分から助けを求められません。一方で、暴力をふるってしまう親の側も、サポートを必要としている場合があります。だからこそ周囲のおとなは、「虐待かもしれない」と少しでも疑いを持ったら、児童相談所に連絡してほしいのです。

40

今は、三ヶタの電話番号で地域の児童相談所につながります。お子さん本人も、また、親子関係に悩む親御さんもかけることができます。番号は「189（いちはやく）」。周囲の目が届きにくい家庭の中で苦しんでいる子どもたちを、どうかあなたの力で救ってあげてください。

45